

第465回鉄鋼流通問題懇談会

2024年4月22日(月) 14:30

茅場町「鉄鋼会館4階」日本鉄鋼連盟・第一会議室

議 題

1. 配布資料説明(全鉄連)
2. メーカー新担当者ご紹介
JFEスチール(株)営業総括部営業総括室長 古家辰哉 氏
JFEスチール(株)営業総括部営業総括室副課長 稲葉知哉 氏
3. 全鉄連情勢報告
 - (1) 地区の状況
 - 東京(鉄流懇・提出資料参照)
 - 大阪、東北、新潟、福井、栃木地区概況報告
 - (2) その他地区の概況
 - 鉄流懇4月例会で発表の各地区業況アンケート結果
 - (3) 総括: 井上全鉄連会長
3. 意見交換
4. テーマ「人手不足について」
メーカー、商社、全鉄連(井上会長、澁井副会長)、発言ごとに質疑応答
5. 総括: 赤木鉄流懇会長
6. 次回会議予定

2024年8月1日(木) 14:30～

於: 茅場町「鉄鋼会館4階」日本鉄鋼連盟・第一会議室

次回テーマ: 2024年物流問題についてパート2

発表項目	鋼管	薄板	厚板	棒鋼・形鋼
	伊藤忠丸紅鉄鋼	岡谷鋼機	JFE商事	兼松トレーディング
1. 需給動向 (景況感)	(店売り分野) 一般店売り分野は荷動き極めて低調であり、足元では対前年割れの状況が続いている。建築向けが、人手不足による慢性的な工期遅延、案件見直しもあり、特に上期は需要低迷。年度終盤から来期にかけての需要回復に期待する向きもあるが、需要回復は25年度からという声もあり未知数。直近の10円/kのメーカー値上げを受け、各特約店は運賃等の自社コスト上昇分も加えた再販価格転嫁へ取組中であり、市況的には底を打っている状況。	2024年2月末の薄板三品在庫は、406.1万トンで2カ月連続増加した。在庫内訳は、メーカー在庫が169.2万トン(前月比△1.4万トン) 問屋在庫が88.8万トン(前月比+4.4万トン)コイルセンター在庫が148.2万トン(前月比+2.3万トン)となった。品種別在庫数量は熱延鋼板が198.4万トン(前月比+0.9万トン)冷延鋼板が83.9万トン(前月比+1.1万トン)、表面処理鋼板が123.9万トン(前月比+3.3万トン)となった。 品種別在庫率では、熱延3.42カ月、冷延3.57カ月、表面処理2.36カ月となり各品種とも前月比プラスとなった。問屋在庫が増えた要因としては、一時的な調整として、商社在庫が増えていると思われる。例年の傾向では3月末は期末となる為在庫圧縮が進むが、そのパターンが踏襲されるかは不透明な状況である。	2024年2月末の全国厚板シャーリング工業組合 厚中板在庫は37万トン(前月比▲0.9%、前年同月比▲13%)で2カ月連続の増加。在庫率は257%(前月比▲21ポイント)で依然適正(200%)を上回る。人手不足や資材高による案件の遅れや様子見は継続。更に世界経済停滞によるユーザーの減速感も窺える。足元回復要素乏しく暫くは需要横ばい想定。 建機：北米以外(欧州、アジア)の需要が低迷し各社減産発表 産機：中韓台、東南アジア向けの需要減速に伴い荷動き低位 建築：中小案件の荷動きは鈍く、大型案件は待ち 橋梁：補修工事安定も一部人手不足で遅れあり。新橋は不調	棒鋼 足元、全般的に需要少なく引き合い低調。各メーカーの値上げ姿勢を受け、市中価格は、ようやく上向き始めた。一方で需要家向けの直送物件は、足踏み状態にある。ただ、左側も人手不足を背景とした賃上げや輸送費の上昇も理解を示しており、今後は、直送でも値上げは避けられない環境となっている。 形鋼 足元、異形棒鋼と同様に、需要少なく引き合い低調。各メーカーの値上げ表明を受け、市況上昇基調となっているものの、中小建築物の出件が伸び悩むなど実需がさえない為、各在庫店は、段階的な価格改定を強いられている。
2. 需要産業動向	<建築・土庫> 2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比8.2%減の5.9万戸で7カ月連続の減少。一方民間非居住用建築物の着工延床面積は279万㎡と前年同月比13.2%減で2カ月連続の減少。店舗、工場向けが大きく減少している。 <自動車> 2月の国内生産台数は、前年同月比16.1%増の58.9万台だった。自動車業界全体では、半導体不足の影響が一部緩和され、2カ月連続でプラス成長しているものの、部品調達難に伴う生産制約はまだ解消されていない。 <建機> 2月の建設機械出荷金額は、内需5.4%減の852億円、外需10.0%減の1931億円となり、内需は2カ月振りの減少、外需は3カ月振りの減少となった。総合計でも8.6%減の2,784億円となり、40カ月振りの減少となっている。 <造船> 1月の起工は、前年同月比75%増の88万G/T(18隻)であった。	2024年2月の自動車国内販売は、前年同月比19.2%減の34.5万台である。内訳は、軽自動車と同24.8%減の11万8047台、それ以外が同16%減の22万6769台、1-2月の累計販売は同16%減の67万9692台であった。2月の民生用電気機器の国内出荷金額は、1,881億円、前年同月比97.7%と2カ月連続マイナスとなった。ルームエアコンは6か月ぶりのマイナス(同98.2%)、電気冷蔵庫は2か月ぶりのプラス(同101.8%)、電気洗濯機は8か月連続のマイナス(同95.9%)となった。民生用電気機器全体では、食糧費等の値上がりから着いてきたことで消費者マインドは改善しているものの、引き続き白物家電への支出は低調で、前年同月比を下回った。国土交通省より発表された1月の新設住宅着工戸数は、5.9万戸(前年同月比7.5%減)であった。8か月連続で前年同月比マイナス。持家や分譲住宅が前年同月比マイナスとなる一方、貸家は6か月ぶりに増加した。民間資金による貸家が増加し、公的による貸家も増加した事が主な要因となっている。	■国内造船所 輸出船契約実績 24年2月実績 116万総トン(前年同月比+48%) 2月末手持工事量 2,205万総トン(契約残約3年) タンカーのリプレース需要復興や新燃料対応船の需要が増加し受注は堅調も、人手不足により生産ピッチ上がらず。 ■建設機械出荷金額(補給品を除く) 24年2月 内需 852億円(前年同月比▲5%) 外需 1,931億円(同▲10%) 総合計 2,784億円(同▲9%) 欧州やアジアでの金利上昇やインフラ投資の停滞により40か月ぶりの減少。今後は外需は弱含み見通し。 ■産業機械受注金額 24年1月 内需 2,053億円(前年同月比+8.6%) 外需 1,662億円(同+22.9%) 総合計 3,715億円(同+14.5%) ボイラおよび原動機、化学機械が伸び、2カ月連続の増加も世界経済停滞で先々は不透明感あり。	令和6年2月の全建築物の着工床面積は、778万㎡、前年同月比13.7%減で4ヶ月連続の減少。公共の建築主は、34万㎡で前年同月比8.5%減、2ヶ月連続の減少。民間の建築主は、744万㎡で前年同月比13.9%減、4ヶ月連続の減少。新設住宅着工は、貸家は増加したが、持ち家及び分譲住宅が減少した為、全体で前年同月比8.2%の減少となった。新設住宅着工戸数は、59,162戸。前年同月比8.2%減、9ヶ月連続の減少。新設住宅着工床面積は、4,522千㎡。前年同月比13.1%減、13ヶ月連続の減少。2月の鉄骨需要量(換算鉄骨量)は、前年同月比13.3%減の29万9950トンだった。マヰ月は2ヶ月ぶり。
3. 輸出入動向	2024年2月鋼管輸出量 継目無鋼管：2万3,811トン(前月比+15.3%) 溶接鋼管：2万1,553トン(前月比+18.7%) 2023年8月鋼管輸入量 継目無鋼管：1,305トン(前月比▲11.6%) 溶接鋼管：7,646トン(前月比+11.3%)	2024年2月の普通鋼材輸入量は38.4万トンで前年同月比+3.0%と15か月増加となった。主要品別では、熱延広幅帯鋼が11.5万トン、同8%増で2カ月連続増加。亜鉛めっき鋼板は10.1万トン、同2.7%減で13か月ぶり減。冷延広幅帯鋼は7.2万トン、同3.7%と3か月ぶりの減少となった。仕入先別では、韓国が13か月連続、台湾が2か月ぶりの増加となった。一方、中国は2か月ぶりの減少となった。	■輸入通関実績 24年2月 3.9万トン(前月比+20.3%) 韓国 3.3万トン(同+3.5%)、中国 0.5万トン(同41倍) 中国材入荷で前月比増加、トレンドは変化なし。 ■輸出船積実績 24年2月 21.2万トン(前月比+6.2%) 韓国 7.1万トン(同▲4.1%)、中国 4.1万トン(同▲14.3%) 主力輸出先の韓国、中国両前月比減少も、ベトナムおよびシンガポール、インド、LAEで増加し2カ月連続の増加	2024年2月の輸出入実績(棒鋼、形鋼) 輸出 形鋼 47,732ト 前月比104.2% 前年同月比87.9% 内 H形鋼 16,083ト 棒鋼 24,132ト 前月比113.7% 前年同月比85.3% 輸入 形鋼 7,632ト 前期比85.0% 前年同月比216.7% 内 H形鋼 5,918ト 棒鋼 1,051ト 前月比68.9% 前年同月比72.8%
4. 海外市場動向	原油価格3月平均WTIは80.49ドル/バレルと3か月前に比べ、+12%上昇。足元は中東やウクライナ情勢の緊迫化を背景に上昇中。2023年10月以来の85ドル台にて推移している。 米国リグカウント数はほぼ横這い(12月最終週620、3月最終週620) 油井管在庫は調整局面から底入れの見込み。	世界鋼協会がまとめた世界71か国の2月度粗鋼生産量(速報値)は、前年同月比3.7%増の1億4880万トンで2か月連続の増加と発表された。不動産市況の低迷で最大生産国の中国で鋼材需要が弱いものの、生産水準が低かった前年同月の反動に加え、うるう年の影響で操業が増えたことで押し上げた。 2023年の世界粗鋼生産量ランキングは1位の中国が前年同月比3.5%増の8,120万トン(推計)だった。2位はインドで1,180万トンと同11.4%増加した。これはインフラ投資などで鋼材の引き合いが強かったことが影響している。	韓国メーカー3社の24年2月厚板販売量は68.2万トン(前月比▲13%、前年同月比▲0.3%)。国内販売量は46.7万トン(同▲19%、同▲7%)、輸出版販売量は21.5万トン(同+4%、同+18%)。23年累計販売量は860万トン(前年比+5%)。造船以外の需要乏しく、かつ中国材の流入で生産量が伸びず苦戦。各メーカーはコスト増を背景に値上げ姿勢も継続。中国の24年1-2月の粗鋼生産量は1億6,796万トン(前年同月比+1.6%)。生産量増加も不動産中心に需要は芳しくなく市況は弱含み。足元需要低調を背景に一部メーカーで生産調整実施。	中国の鋼材相場は、3月4週(3/25~3/29)で全品種、値下がりした。3週後半には一部の市場で相場が上昇したが、4週に入り、再び下落した。異形棒鋼は、104元(約14.4ドル)安、山形鋼が58元(約8ドル)安など。3月第5週は、小幅続落となった。

鉄鋼流通問題懇談会（2024年4月）

発表者 発表項目	メーカー JFEスチール
1. 需給動向（景況感）	<p>（国内）・3月の日銀短観では企業の景況感を表す業況判断指数（DI）が大企業・製造業で前回（12月）調査比▲2の+11と若干悪化（前回先行き比では+3の良化）。先行きは+10となり、3月比▲1ではほぼ横ばい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家計部門について、2月の小売業販売額は前年同月比+4.6%と24ヵ月連続の増加。物価上昇の影響等もあり、上昇基調継続。 ・製造部門では2月四輪車生産は前年同月比▲16.3%と2ヵ月連続の減少。2月の機械受注は前月比+7.7%と2か月振りの減少。 ・建築部門では2月の全建築物建築着工床面積は778万㎡（前年同月比▲13.7%）と減少傾向が継続となった。 <p>（海外） 米国：金利政策の先行きに不確実性もある一方で、雇用、個人消費などは引き続き底堅く、通年では緩やかな成長となる見込み。 欧州：根強いインフレと高水準金利の影響があるも、インフレ沈静化も見られ始め、回復の兆しが見える。 中国：主要産業である不動産市場の低迷が長期化しているほか、企業の生産も伸び悩むなど景気は減速基調。政府主導の景気浮揚策・過剰生産抑止策の動向に注視要。</p> <p><国内鉄鋼需給></p> <p>（生産）・2月の粗鋼生産（速報）は699万t（前年同月比+1.1%）と3ヶ月連続の増加。 （出荷）・2月の普通鋼国内向け出荷は294万トン（前年同月比▲0.8%）と2ヶ月連続の減少。 （在庫）・2月末の普通鋼鋼材国内向け在庫は538万トンと前月末比で2ヵ月連続の増加。 ・2月末の薄板3品在庫は406万トン（前年同月比▲15万トン）。昨年後半の400万tを下回るレベルから一転して増加。 ・2月末の厚板シャワー在庫は22万トンで、23年12月まで16か月連続減少の後、横ばいで推移。</p>
2. 需要産業動向	<p>〔建 築〕・2月の新設住宅着工戸数は5.9万戸（前年同月比▲8.2%）で9ヶ月連続の減。貸家は増加も、持家・分譲で減。 ・2月の非住宅着工床面積は310万㎡（前年同月比▲13.0%）で2か月連続の減。店舗・工場を中心に減。</p> <p>〔自動車〕・3月の国内販売（輸入車除く）は41.4万台（前年同月比▲22.9%）。3ヵ月連続での減。 ・2月の完成車輸出は35.0万台（前年同月比+11.8%）で13か月連続の増。 ・2月の四輪車生産は61.2万台（前年同月比▲16.3%）で2ヵ月連続の減。</p> <p>〔造 船〕・2月の新造船受注量は116万GT。手持工事量は2,758万GTと2千万台を維持。</p>
3. 輸出入動向	<p>〔輸出〕・2月の全鉄鋼輸出（速報）は252万トン（前年同月比▲4.1%）で2ヶ月振りの減少。 〔輸入〕・2月の鋼材輸入（普通鋼・ステン鋼・その他合金鋼計）は42万トン（前年同月比+5.2%）と13ヶ月連続の増。</p>
4. 海外市場動向	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の世界粗鋼生産（71ヵ国）は1億4,880万トン（前年同月比+3.7%）で3か月ぶりの増。 ・2月の中国粗鋼生産は8,118万トン（前年同月比+1.4%）。 ・2月の中国鋼材輸出は717万トン（前年同月比+26.5%）。 ・中国市中在庫は、3月29日時点で1,666万t（同+12.9%）。